



平成 24 年度前期東京都子供見守りボランティアリーダー育成講座修了者の皆さん
(平成 24 年 8 月 4 日 東京都庁第二本庁舎)



平成 24 年度後期東京都子供見守りボランティアリーダー育成講座修了者の皆さん
(平成 25 年 2 月 23 日 東京都庁第二本庁舎)

平成 24 年度 子供見守り活動 事例集



子供見守り活動

あなたも始めてみませんか

「子供見守り活動」とは、名称や活動の形態に関わらず、子供の安全を確保するために一定の時間、子供の生活空間に留まるなどして子供を犯罪等から守る活動をいいます。

こうした活動が次代を担う子供たちの安全・安心、健やかな成長を支えます。



パトロールだけが、「子供見守り活動」ではない！

子供の安全確保というと、通学路のパトロールを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。パトロールも効果的な方法ですが、実は皆さんが日頃から行っている花の水やりや犬の散歩などの取組も、小学生の登下校時間に合わせて行うなど、ちょっとした工夫で子供の見守りにつなげることができます。

また、割れ窓理論（※）に基づき清掃活動や落書き消しを行うことで、犯罪が起こりにくいまちになります。

本事例集では、子供見守り活動を始めようとしている人、また、既に取り組んでいる人へ、様々な活動事例を紹介します。

皆さんの活動により、子供にとって安全で安心な生活環境づくりを進めましょう。



※アメリカの社会学者によって提唱された理論。割られた窓ガラスが放置されている（ゴミや落書きが放置されている）ような場所は、地域の人が無関心であるサイン。犯罪者が「犯行を見つかったても通報される心配が少ない」と考え、犯罪が起こりやすくなります。

INDEX

●子供見守り活動を始めるとあって

- できることを、自分のスタイルで 4
- 東京都子供見守りチャレンジ提案事業 5

●子供見守り活動紹介

- 子供見守りチャレンジ事業実行委員会 6
- 高井戸東地区防犯パトロール隊 8
- 牛込ワンワンパトロール隊 10
- 和田三丁目西町会 12
- “がきんちょ”ファミリー 14
- 練馬ピーポーズ・練馬工業高校 16

●東京都子供見守りボランティアリーダー育成講座紹介

- 講座の概要 18
- 子供見守りプランの紹介 20

●活動のヒント

- 和泉ピースプラスワン 22

できることを、自分のスタイルで

子供見守り活動は、地域の実情や個人の事情に合わせて、無理なく、継続可能な方法で行うことが大切です。

メンバーの高齢化や大きな個人負担、他団体との連携などが活動上の課題となっていないですか？

「できるときに、できることを」楽しみながら、またやりがいを見出しながら、自分のスタイルで取り組んでみましょう。

子供見守り活動



※「動く防犯の眼」の取組とは、都内を走る事業者の車に「動く防犯の眼（防犯ステッカー）」を貼り、犯罪発生現場や不審者を見かけた場合に率先して通報してもらうもので、都民の安心感と地域の防犯力の向上を目指すものです。

東京都子供見守り チャレンジ提案事業

子供見守りチャレンジ提案事業とは

子供見守り活動の更なる充実を図るため、防犯ボランティア団体が地域の実情に応じて作成した「子供見守りプラン」の取組に対して補助を行います。

補助申請に当たっては、区市町村の「安全・安心まちづくり課」（名称は自治体により異なる）にご相談ください。

※平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 か年の事業です。



「こども 110 番の家」駆け込み体験

対象となる事業は

都内の防犯ボランティア団体が実施する新たな子供見守り活動が対象となります。事業内容に応じて、以下の 3 つに分類されます。

事業区分	事業内容
A 地域の課題解決 チャレンジ提案事業	地域が抱えている子供見守りに関する課題を解決するため新たに企画する取組
B 他団体との協働による チャレンジ提案事業	他の団体と新たに協働して実施することにより、子供見守り活動の向上を図る取組
C 三世代が連携・交流する チャレンジ提案事業	三世代が新たに連携・交流する子供見守り活動の取組

「地域で子どもを見守ろう」

ミニ鯉のぼり作戦、のぼり旗作戦で見守りを喚起

取組の背景

高田馬場駅西側の繁華街を含む一帯は、大人と子供のつながりが希薄と感じたので、子供が犯罪に巻き込まれないよう、地域での見守りを呼びかけることにしました。

ゼロからの取組

子供を見守る機運を盛り上げるため、ミニ鯉のぼりを「子供見守りのシンボル」として地域で掲げようと考え、子供の日を中心にミニ鯉のぼりと「地域で子どもを見守ろう」のポスターを商店街に掲げることにしました。

しかし、活動組織がないためゼロからのスタート。まず、知り合い数名から賛同を得て実行委員会を立ち上げ、隣接する町会や商店会、地域一帯の小学校、PTA などの代表者に説明して回りました。その結果、

「ぜひやってください。応援します」と仲間が増えていき、高田馬場駅東側の商店街を含む活動となりました。のぼり旗には活動に賛同した 35 の団体名が入っています。これは地域みんなの活動であることを表したものです。



ミニ鯉のぼり作戦はたくさんの協力を得て

店頭のミニ鯉のぼりと街灯のポスター



協力団体名入りの旗

ポイント! 各団体の代表者は子供の安全を大変気にかけており、直接協力をお願いしたことが成功へとつながりました。みなさん二つ返事で協力してくださり、活動範囲が広がるとともに、仲間づくりができました。

取組の効果と反省

子供を「地域で見守ろう」のメッセージをより多くの人に伝えることができました。ただし、予定していた街灯へのミニ鯉のぼりの取付けには法的な規制があることが判り、商店に掲げてもらうよう1軒1軒回るなどテンテコ舞!

さらに、規模を膨らませ過ぎたため大忙しとなり、やはり「自分たちのできる範囲で地道に」が大切と実感しました。

その後の活動状況

ミニ鯉のぼりで広がった活動の輪を活かし、祭りなどのイベントや小学校・幼稚園の行事にのぼり旗を立てています。

のぼり旗は当初 25 本つくりましたが、協力者が増えたため 10 本追加しました。



都庁のイベント会場に



小学校の学校公開の校門に

のぼり旗の前で委員長の海上さん(右端)とメンバー



今後の展望

のぼり旗をいろいろな場所に立てて見守りの輪を広げるとともに、各公園に鯉のぼりを泳がせたいと考えています。将来は、鯉のぼりの季節に「子供見守り週間」を設け、子供見守り活動を盛り上げていきたいと思います。

育成講座講師からひと言

鯉のぼりを「見守り」に結びつける発想がユニークです。地域独自の活動であることは、参加者のやる気にもつながるでしょう。提案者の強い思いが地域に広がった好例です。

(独) 建築研究所主任研究員 樋野 公宏 氏

「ほっとステーション柳窪」 子供とまちの“安心の灯台”を開設

取組の背景

平成20年12月以降、防犯パトロール隊として地域の防犯活動に取り組んでいますが、高井戸東地区の犯罪発生状況等を考えると、子供たちにとって必ずしも安全とは言い難く、あらためて子供の見守りに取り組むことにしました。

子供見守りの拠点づくり

まちに交番のようなものがあれば子供たちはもちろん、人々の安全にも役立つ拠点になると考え、柳窪交差点にあるバス会社の運転手待機所を借りて、「ほっとステーション柳窪」を開所しました。

待機所は、清掃などの環境整備や建物の改修を行うことを条件に無償で貸していただけました。

また、防犯協会の青パトを使用させていただき、パトロール活動の強化を図りました。開所後はここを拠点にパトロール活動を行うとともに、一定時間隊員が詰めて見守り活動を行うなど、「ほっとステーション柳窪」が地域の安全の拠点となるよう努めています。



ほっとステーションからパトロールに向かう隊員



青パトと代表の杉山さん

ポイント! 柳窪交差点は地域の中心に位置するため、隣接するバス会社の運転手待機所に目を付けました。地域の防犯活動拠点にしたいとバス会社にお願ひし、交渉を重ねた結果、快く貸していただけたのが成功につながりました。

取組の苦労と効果

経費節約のため、建物のペンキ塗りや隊員が行い、照明の電源にはソーラーパネルを採用しました。また、地域の方に知っていただくため、子供たちと一緒に花壇づくりをしました。

開所後は「これができて安心」「もっと早く照明をつけて」など、子供たちとまちの“安心の灯台”になっています。



子供たちとつくった花壇



開所前の改修も隊員の手で



開所後のステーション

日頃の活動状況

現在は防犯パトロールのみならず、子供見守りを柱に活動しています。月10回程度の一斉パトロールのほか、都合のつく隊員による下校時間の見守りや青パトでのパトロールを実施。また、「ほっとステーション」には隊員が詰めて子供たちの安全を守っています。



ゴミを拾いながらまちをパトロール



子供たちと花壇づくり

今後の展望

学校で私たちの活動を保護者に説明したり、青パトに同乗してパトロール体験をしてもらうなど、地域に根ざした取組を進めていきます。また、地元大学のサークルとの協働など、学校や行政、警察等との幅広い連携を図り、子供たちの安全を守っていきます。

育成講座講師からひと言

地域の中心に位置する民間施設の環境を改善し、さらに見守り活動の拠点にしたことで、地域の安全性は大きく高まるでしょう。企業の社会貢献という点でも参考になります。

(独) 建築研究所主任研究員 樋野 公宏 氏

「パトロール体験と防犯教室」 犬と一緒に巡回し“いかのおすし”実演

取組の背景

9年前から、牛込警察署と連携して防犯パトロールをしてきました。東京都の子供見守り講座を受講したことをきっかけに子供の見守り活動も行いたいと考え、ワンワンパトロール隊の特徴を活かした催しを行うことにしました。

今回の取組内容

子供たちに活動を知ってもらうには、隊員や犬と顔なじみになることが大切です。そこで、ワンワンパトロールの体験と「いかのおすし」をテーマとした防犯教室を行いました。

パトロールの体験では、「こども 110 番の家」を説明し、協力者と子供たちが挨拶を交わしました。児童館で実施した防犯教室では区役所や警察の協力のもと、不審者対処法を説明し、子供たちにも演じてもらいました。



代表の北川さんを先頭に子供たちとパトロール



「いかのおすし」を実際に演じて

いかのおすし	知らない人にはついていかない 知らない人の車にはのらない 助けて!とおおごえをだす 連れていかれそうになったらすぐにげる 近くの大人に何があったかをしらせる
--------	--



「こども 110 番の家」について説明

ポイント! 犬と一緒にパトロール体験により、犬や隊員とも打ち解け、その後の防犯教室も楽しく元気に行うことができました。

取組の効果

子供たちと顔なじみになり、「犬と一緒にみんなを見守っているよ」というメッセージが伝えられたと思います。

日頃のパトロール中も、「ワンワンパトロールだ!」といって子供たちが駆け寄ってきます。地域の人からも「ごくろうさま」と声をかけられるなど活動の浸透を感じています。



パトロール中に子供たちが

日頃の活動状況

毎日の散歩時にパトロールするほか、毎週火曜日の下校時間に合わせ、牛込警察署に集合してパトロールを実施しています。また、地域の愛犬家を対象としたペット防災セミナーや警察犬の実技見学会などを開催しています。



首には防犯バンダナ



出発地の牛込警察署前で



下校時のパトロール

今後の展望

子供たちに犬とのふれあい方や命の大切さを学んでもらいながら、まちの安全・安心に貢献していきたいと考えています。

育成講座講師からひと言

子供たちの大好きな犬とのふれあう楽しい時間を通じて、防犯について学ぶことは効果的だと思います。110番の家への駆け込み練習もとても大事な活動です。

まちづくりコーディネーター 杉崎 和久 氏

「おじいちゃん・おばあちゃんによる 児童生徒の登校見守り隊」 ～孫を見守る気持ちで「おはよう」と声かけながら～

取組の背景

これまでの登校時の見守りは少人数での活動でしたが、「子供の安全は、すなわちまちの安全」との考えから、町会のおじいちゃんとおばあちゃんに白羽の矢を立て、新たな見守り隊を結成しました。

おじいちゃん・おばあちゃんによる 見守り隊の結成



毎朝自宅近くの通学路で

杉並第十小学校の登校時間にあわせ、町会のおじいちゃんやおばあちゃんは、子供たちにあいさつや声かけをしながら、毎朝約 30 分間自宅前などの通学路に立って子供たちの登校を見守っています。この取組をさらに広げるため、隊名入りのベストと帽子を作成しました。また、子供たちに顔を覚えてもらうため、朝礼で校長先生から全校児童に隊員を紹介してもらいました。



隊員用帽子とベストの
秋澤副会長



全校児童へあいさつする小林会長

ポイント！ 活動のキーワードは“できる時に・できる場所で”。体調がすぐれない時や都合の悪い時を除き、自宅前の通学路での見守りをお願いします。

取組の効果

子供たちと顔なじみになると、元気なあいさつとともにハイタッチしてくる子供も増えました。仕事に向かう通勤者からも「ごろうさまです」と、通学路にまちにあいさつの言葉が響くようになりました。

隊員も「子供たちから元気がもらえる」など、やりがいを感じるようになりました。

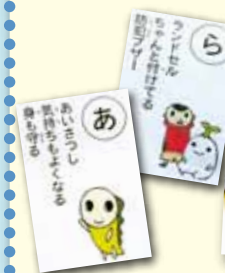
児童との交流イベント

小学校で餅つきとカルタ取りを行いました。校長先生は、「みなさんと顔なじみになれますし、お餅がどのようにできるのかを知ることができます」と快く受け入れてくれました。

朝から隊員が餅つきの準備をし、校長先生が返し手を担当する中、子供たちの「よいしょー！」の掛け声に合わせ、先生たちとともに杵をふるいました。できあがったお餅は、お雑煮にして児童と一緒に食べました。また、1年生の授業では防犯カルタを使って、おじいちゃんやおばあちゃんと楽しみながら安全について学びました。



吉井校長が返し手を担当



防犯カルタ



児童と一緒にカルタ取り



先生も元気なかけ声に合わせて

今後の展望

子供見守りの楽しさややりがいをより多くのおじいちゃん、おばあちゃんへ伝え、隊員をあと10名くらいは増やしたいと考えています。

また、季節ごとに児童との交流行事を行い、より多くの児童に顔を覚えてもらいたいと思います。

育成講座講師からひと言

見守り活動だけでなく、イベントなどを通じて世代を超えた関係がつかれている点が評価できます。そして「できる時・できる場所」というスタンスも継続した活動にするために大事です。まちづくりコーディネーター 杉崎和久氏

「青少年の居場所ほつか」

子供たちが自由に集い遊べる“居場所”づくり

活動のきっかけ

10 数年前から、子供同士や大人と子供のつながりが薄れ、居場所のない子供たちが多くなっていると感じました。そうした子供たちの応援団として、集まることができる機会や場所をつくり見守ることにしました。

活動のステップアップ

平成 15 年に活動を開始しました。当初は決まった場所がなく、キャンプやウォークラリー、七福神巡りなど年間 20 回ほどの行事を開催し、それを“場”としました。

平成 20 年に中学校の教室や体育館を使わせてもらえることになり、定期的に“居場所”活動ができるようになりました。

た。その中で地域に呼びかけて、みんなが遊ぶ場として「がきのり子供フォーラム」などを開催しました。また町会や地域の行事にも参加する機会が増えていきました。

今では「がきんちょファミリー」として、保塚地域学習センターを会場に、区の委託事業として「青少年の居場所ほつか」を運営するほか、さまざまな地域行事にも参加しています。



代表の大山さん



がきのり子供フォーラムにて



あだち NPO フェスティバルにて



地域の人も交えてクリスマスの催し

ポイント! 実績の積み重ねや様々な活動を通じて、地域の学校や行政と強い信頼関係を築くことができ、活動の場を広げることができました。

現在の活動内容

現在は保塚地域学習センターの部屋を借り、毎月第 1・第 3 日曜日の午後 1 時から 5 時まで「青少年の居場所ほつか」を開いています。ここは文字通り“居場所”で、小中学生を中心に幼児から青年までが集い、ゲーム、マンガ、パソコン、おしゃべり、ダンスなど自由に時間を過ごしています。集まるのは毎回平均 20 ～ 30 名。この部屋では大人の「日曜サロン」もあわせて催しており、多世代交流の場ともなっています。応援団の会員は約 30 名。都合のつく人が出てきて子供たちを見守っています。

どのように過ごすかは子供まかせです。年齢を超えて遊び学びあい、時々自分たちで「1 日徒歩旅、1 日バス乗継巡り、ダンス発表会」などの企画を立てて実施します。応援団は相談にのり見守るだけ。そうした関係も含め子供たちにとっては居心地がよく、開催日を心待ちに集まってきます。



パソコンも自由に



幼児と小中学生がともに



大型画面でゲーム

今後の展望

大学生による冬休み期間中の学習教室や、誰もがおしゃべりに参加できる井戸端会議などを併せて開催し、学習の応援や多世代交流を図っていきます。とにかく継続を第一に、将来的には一軒家などでいつでも集える“居場所”を実現できればと思います。

育成講座講師からひと言

自発的活動を応援するという形での子供見守りは模範的です。地域の大人が、得意分野を活かしながら、無理なく子供を応援することが継続につながっているのでしょう。

(独) 建築研究所主任研究員 樋野 公宏 氏

若い力で「犯罪を生まない美しい街」へ 全国的にも珍しい高校生の防犯ボランティア団体

取組の背景

練馬警察署からピーポーズへの参加の呼びかけをしました。練馬工業高校では、学校も生徒会も更に地域貢献をしたい、ボランティア活動の幅を広げたいと考えていたため、それに応えピーポーズに登録されました。

さまざまな活動で地域に貢献

平成 24 年 1 月、体育館で全校生徒のほか警察・町会などの関係者を集め「練馬ピーポーズ・練馬工業高校」の発足式を行い活動をスタート。それまでの交通安全運動などに加え、豊玉陸橋の落書き消し、学校近隣の公園の花壇づくり、通学路の清掃や雪かき、「練馬ピーポーズ・練馬工業高校」発足式にて防犯パレードの参加、エコキャップ運動、文化祭の売上寄付など活動を広げています。

昨年 10 月に行った花壇づくりは、花壇のなかった公園に、環境美化を通して「犯罪を生まない美しい街へ」をキャッチフレーズに取り組みました。作業は生徒や先生、警察、町会の人々がともに汗を流し、地域との連携を深めました。花壇には、この 1 月に記念プレートが設置されました。

豊玉陸橋の落書き消し



駅前での交通安全の呼びかけ



公園の花壇づくり



「練馬ピーポーズ・練馬工業高校」発足式にて



参加者の募集

「練馬ピーポーズ・練馬工業高校」は、生徒会役員 11 名が活動の中心となり、活動の際、各部への呼びかけや、掲示板へのポスターの貼り出しなどにより参加者を募っています。「生徒に地域貢献を推奨しています。」との校長先生の言葉通り学校のバックアップもあり、その都度、多数の生徒が集まり活動を行っています。



防犯パレードへも参加

活動の効果と喜び

地域の方々は「花壇で公園が明るくなった」「清掃や雪かきにも大変感謝している」と喜んでいます。また、生徒指導の先生は「生徒のボランティア活動への関心や防犯意識が高まり、それに伴い規範意識の向上にもつながりました。」と話しています。花壇の記念プレートは、園芸部がデザインや加工をして制作しました。地域の方々と少しずつ連携を広げ、「ありがとう」、「ごころうさま」と声をかけていただくことがとても嬉しく励みになっています。



花壇の記念プレートの除幕式にて



学校付近の道路の雪かき



花壇の清掃

今後の展望

生徒は、参加者をもっと増やしたい、地域に役立ちたい、地域の人々と交流を深めたい、そして、工業高校ならではの防犯ボランティア活動をしたいと考えています。こうした警察署と連携した高校生による活動は全国的にも珍しく、先生も「この活動を練馬から全国に発信していきたい」ととても意欲的です。



活動時の腕章

東京都子供見守りボランティアリーダー

育成講座



講座の概要

東京都では、地域における安全・安心まちづくりを推進するため、平成 22 年度に「東京都子供見守りボランティアリーダー育成講座」を開講しました。

講座には、都内の町会やボランティア団体、PTA、学生など様々な立場や幅広い年齢層の方が参加し、専門家の講義やグループワークを通じて子供見守り活動の手法などについて学びました。

平成 24 年度までの 3 年間で 5 回（各 6 日間～8 日間）の講座を実施し、250 名を超える修了者が都内各地で活躍しています。

専門家の講義 リーダーの体験談 インターンシップ



防犯のスペシャリストや第一線で活躍するボランティアリーダーなど豊富なキャリアを有する講師陣の実践的な講義から、今後の活動のヒントを見つけます。

プランの企画



地域の課題を考え、それを解決する「子供見守りプラン」を作成するための手法や意見交換のルールなどを学びます。

発表



講座やグループ実習に基づいて作成した「子供見守りプラン」を発表します。

育成講座講師から一言

この講座では、子供が安心して健やかに暮らすことができる地域環境の形成に向け、専門的な知識の習得だけでなく、子供見守りプランの作成実習を通じて、自主防犯ボランティアの方々に地域の課題分析や解決手法を具体的に学んでいただきました。修了者には 6 日間に亘る講座で育くんだ仲間とのネットワークを活用して、地元での幅広い活動を期待しています。

東京大学大学院教授 小出 治 氏

コラム

いいな 安心ワークショップ

平成 24 年 11 月、都庁 5 階大会議場において、東京都安全・安心まちづくりアカデミー修了者や東京都子供見守りボランティアリーダー育成講座修了者、都内の防犯ボランティア団体、学生ボランティアが集まり、「いいな 安心まちづくりワークショップ」を開催しました。

「活動内容の充実」「参加者の拡大」「行政や警察との連携」「学校・PTA との連携」の 4 つのテーマで 16 テーブルに分かれ、100 名を超える参加者により活発な意見交換が行われました。

最後に、葉っぱの形をした付箋に参加者一人ひとりが今後の抱負等を書き、「いいな 安心の樹」を作成しました。



東京都子供見守りボランティアリーダー

育成講座



子供見守りプランの紹介

*平成24年度前期受講者の子供見守りプラン

氏名	プラン名	氏名	プラン名
黒田 恵子	みんなで安全・安心まもりたい!	仁平 恵治	井草1、2丁目町内会
小野 雅久	海と大人は子供を見守る	井原 正蔵	商栄会こども見守り隊
小島 和子	①犬となかよくなろう ②ペットと防災セミナー	清水 政征	私の好きな町だから
黒澤 麗子	心を育む朗読の会(挨拶をしよう)	渡部 博子	~Heart to Heart 心から心へ~ 光が丘安全・安心見守り隊
正村 公江	平成防災防犯イベント プランニング隊	青木 真佐枝	町会に婦人部を作り 「子供会活動」を行う
金子 磨矢子	みんながってみんないい子を みんなで守ろう!	苅部 幸代	関地区安全安心マップ
神谷 昌宏	お地蔵さまと仲良くなる会	有田 初美	地域の安全の点検と確認
坂巻 章雄	ネットトラブルから 子ども達を守り隊	佐藤 由廣	平和台二丁目町会防犯部 「子供見守り委員会」(仮称)
榎本 みどり	放課後子ども教室	田中 田鶴子	この指とまれ
中沢 幸子	江東区UD/パト隊プラン	大山 光子	子ども未来見守りネットワーク 「地域「絆」プロジェクト」
市川 量久	地域コミュニティー・サロン 「バーモン2の邸宅」	須永 弘文	八王子市 薬物乱用環境浄化見守り隊
山保 徳俊	SNS情報共有隊	小山 君枝	みんなで楽しみ隊(ピッコロ)
磯 邊 隆	大森山谷子供見守り隊	戸高 綾子	地域の絆で子どもを守ろう
海老澤 信吉	上池上自治会 防犯パトロール計画	中村 亮介	明星大学 ボランティア活動宣伝イベント
平野 光義	大三小わくわくスクール	須永 理華子	私たち、「みまもるん」です!
川喜多 弘子	地域で見守る 「明正おはようDAY」	遠山 さだ子	登校・下校・見守りチーム (第五小学校)
大塚 隆弘	地域安全マップで (あかるく なかよく たのしい) 「あなた」のまちづくり	高橋 紀子	ハイタウン地域学校ボランティア (保育園・幼稚園も含む)
入江 真	みんなでカラオケのど自慢	乃一 雅代	ふれあいステーション大南
小澤 宏之	ワンワンパトロール + 登下校の見守り隊	黒田 洋子	
中川 禮子	わがまちの子供見守り活動と 町会活動	黒田 広美	
山田 治美	三世代子供見守り活動 (ふりかえり)	向井 清子	
		黒髪 紀子	夕焼け見守り隊
		高見 之孝	心のルネッサンス (地域の絆づくり)

(順不同・敬称略)

*平成24年度後期受講者の子供見守りプラン

氏名	プラン名	氏名	プラン名
小田 桐 誠	神楽坂三丁目挨拶活動	岩出 順子	町中花いっぱい
喜多山美代子	①子供安全教室 ②ペット防災講習会	小出 英二	見守り老人(学校安全ボランティア)
中尾 誠子	子供見守り~隊	後藤 久美子	子供見守りグループ
松崎 脩二	戸山地域子供見守る会	小山 淳悟	あつまれ わんぱく!(わんパーク)
山下 武男	国際都市子供見守り隊 (多国籍見守り隊)	小山 泰	子供見守り安心安全交流会 (安全地域づくり)
市村 泰敏	レトロ緑台の設置による 町ぐるみでの見守り	西海 一男	子供見守り安心安全交流会 (安全地域づくり)
上村 洋司	車庫跡公園地域交流 花と餅つき大会	石黒 昇	各自治会統合の 見守りパトロール推進強化
東川 朋子	子ども見守りチャレンジ安全・安心	石井 勝雄	地域連携隊
松尾 百合子	協力隊	江藤 征雄	防犯活動(子供見守り等)・点から面へ
黒澤 永子	16ばんち子ども見守りプロジェクト	斎藤 三夫	あんしん見守りパトロール
白井 紇	親子でDIYにチャレンジ!	鎮目 義雄	玉川学園・ 南大谷地域見守りパトロール
土志田 ゆか	家の身近にある植物で災害に 備えよう!世田谷区公園観察会	新城 隆吉	町田市立小山小学校 馬場・中村地区子供見守り隊
杉山 里子	通学路の点検	高群 公明	子ども見守りチャレンジ事業
手呂内 薫	子ども見守り普及活動	田畑 一夫	木曽森野地域の世代間交流
秋山 成子	顔見知りを増やして、 犯罪の起きない町を作ろう!	大瀧 幸子	下校見守り隊事業
松田 あや	NPO法人 ささえ手 「グリーンバルーンプロジェクト」	室賀 さゆり	下校見守り隊事業
村井 隆太郎	派遣型学生ボランティアプラン	浅田 瞳	夢小にっこり声かけ見守り
岡部 房江	スクールガード	荒木 華愛	夢ヶ丘小学校あいさつパトロール
瀬川 光敏	緑小学校見守り隊	井田 萌花	朝パトロール
松井 孝司	氷川町子ども見守り隊	村上 翔太郎	夜間パトロールと朝パトロール
室岡 三男	守ろう!緑の子供達を	伊藤 好子	花いっぱい活動で 子供に見守り 高齢者に健康を
内藤 晴代	親子見守り広場	斎藤 勇	地域こども見守り巡回パトロール
佐藤 仁美	親子見守り広場	原 和子	親子で通学路を歩こう 子供見守り啓発活動
増田 健一	光が丘6丁目 安心安全地域パトロール	森 勇貴	幼児期の親から始める 子供見守り啓発活動
松本 聡一郎	練馬区 下石神井こども安全まちづくり	亜厂 暲好	子供見守りと公園の美化
森 烈子	やどり木	植野 昭利	★グリーンメンツン鶴牧団地 子供とお母さん(お父さん)の会★
山元 圭子	まちのつながり・ 地域活動参加のきっかけ提供所	内多久雄	聖っ子 見守り隊(仮称)
内田 正寿	子供見守りネットワーク	小細澤 貞治	ひのきの森の活性化
城道 文子	安心・安全の為の地域交流 いざという時に!	石井 広光	子ども見守りチャレンジ事業 (自治会活動の一部として)
関 美智子	見守り交流会	斎藤 友子	835地域見守り隊(ハチ・サン・ ゴ・チキミマモリタイ)
渡部 久美子	みんなで楽しく~地域まつり~	原田 光久	荻小ネイチャー元氣プロジェクト
小尾 すみれ	地域で守ろう成城の子供たち~ ゴミ出し見守り	寺田 啓美	荻小ネイチャー元氣プロジェクト
		川端 法子	あちこちに目、目、目!
		金子 みどり	子ども見守り・居場所作り

(順不同・敬称略)

「元気に明るく、無理なく根気よく」 地域の子供を地域で守って11年

平成14年に和泉地区の公園で中学3年生の男子が、ナイフを持った男に脅される事件が発生し、それをきっかけに親父達の野球部仲間が奮い立ち、たった10名でパトロール隊が立ち上がりました。11年にわたる見守り活動の経験から、団体の継続にもつながる仲間づくりのヒントを代表の斎藤史哉さんにうかがいました。

活動内容

最初は10名程度で週1回、夜の塾帰りの時間に合わせパトロールを始動。間もなく地域の3つの町会の防犯部が合流し30名に。その後、登校時に不審者が出没したのを機に、町会の高齢者や母親に呼びかけ朝の見守りも始めました。

当時、このような自主防犯団体による取組は珍しく、平成15年にNHK「難問解決!ご近所の底力」に数回にわたり出演。その反響で会員は一時100名まで増えました。

現在は夜のパトロールと毎朝登校時の見守りを行うほか、小学校でのセーフティ教室、中学校での災害時初期訓練など様々な活動を展開しています。

活動のモットーは「元気に明るく、無理なく根気よく」

10代の若者から80代までの会員が、ピースプラスワンの名前のとおり、自分にできることをプラスして地域の安全・安心を守り続け、その活動は全国の防犯活動のモデルとなっています。

会員着用のジャンパー



夜のパトロール



登校時の見守り



小学校でのセーフティ教室

仲間づくりのヒント

ヒント① 直接顔を合わせて

チラシや掲示板、ホームページなどで会員を募集しましたが、一番効果的なのは直接顔を合わせての誘いです。誰でも「何か役に立ちたい」という気持ちを持っています。それを引き出すには、こちら側の「思い」が伝わるのが大切です。チラシなどでは伝わりません。



代表の斎藤さん

ヒント② 間口を広げて

活動の間口を広げて働きかけるのも一つの方法です。私たちは防犯バーベキュー大会や、学生バンドによる自主防犯音楽祭などを催し、活動に興味を持った人を誘っています。とくに音楽祭は若者の活動参加に効果があります。



防犯バーベキュー大会



自主防犯音楽祭

ヒント③ それぞれができる時間に

見守りが「朝なら」という人もいれば、「夜なら」という人もいます。そのため朝は高齢者や母親、夜は会社勤めの人などを中心に、できる時間に、できる範囲で活動に参加してもらっています。こうすれば参加できる人の範囲は広がります。



会員の年齢層は10代から80代までと幅広い



ヒント④ ガチガチに考えず

「こうじゃなきゃならない」とあまり厳しい決まりごとをつくることは考えものです。私たちの団体には会則もありません。

「こうであるに越したことはないが」というくらいに考えましょう。

ヒント⑤ やめていく人も仲間

子供の卒業などを機にやめていく会員もいます。その時は「普段の生活の中で見守りを続けてください」「何かあった時は協力してください」と送り出しています。やめていく人も見守りの意識を持った仲間です。